

新井 千鶴

Profile

Chizuru Arai

平成5年11月1日生まれ。男衾中出身。得意技は内股。7歳から柔道に取り組み、児玉高校3年時にはインターハイの70kg級で優勝。三井住友海上火災保険株式会社所属後は、世界柔道選手権大会や柔道グランドスラムなど、数多くの国際大会で優勝。東京オリンピックに向けて、その勢いは止まらない。



男衾柔道クラブ代表
長谷川 浩伸さん

昨年に続いての世界柔道選手権優勝、おめでとうございます。クラブの子どもたちは、新井選手の活躍を見て、今まで以上に頑張っています。これからも変わらず柔道クラブを続けていきますので、新井選手も自分にしかできないことを成し遂げてください。応援しています。



寄居中学校柔道部主将
井田 侑希さん

世界柔道選手権2連覇、本当におめでとうございます。私は新井先輩に憧れています。私もいつか先輩のように世界の舞台に立てるよう、稽古していきます。先輩に言われた全国大会出場の目標は今年達成しました。先輩もオリンピック目指して、これからも頑張ってください。



平成国際大学柔道部
大谷 麻稀さん

この度は世界柔道選手権2連覇おめでとうございます。私は同じ寄居町、児玉高校出身ということで、とてもいい刺激をもらっています。新井選手と練習したときは、これまでの努力や忍耐強さを肌で感じました。私も新井選手のように、世界で通用するような選手を目指していきます。

祝二連覇

新井選手の二連覇を祝して、お祝いのメッセージをいただきました！



写真：AFP/アフロ

世界の頂点へ、再び

新井千鶴選手 世界柔道選手権大会二連覇 勝ち取った「去年とは違った形での優勝」

世界選手権ではたくさん応援ありがとうございました。

去年世界チャンピオンになってから、より研究される中で勝ち抜くには何が必要かを考え、同じことをしては勝てない。新たな取組をしていく。という考えから、どこを持って勝てられるようにすること。技を増やすこと、この二つを柱に進化を求めて取り組んでいきました。しかし、自分の思っているようには戦えず、結果もついてこない日々が続きました。何が足りないのか、どうすれば勝てるのか、自問自答を繰り返しながら稽古に励みました。世界代表が決まり、強化していく中で気付けたことは、心を整えることが勝つために一番大切だということ。「心・技・

体」で体や技をしっかりと作り上げたうえで、それを最後試合で出すか出さないかは自分の気持ち次第。「ここで負けたら」と先に結果ばかり気にしていた自分を変えることができ、世界選手権では「準備してきたものをすべて出し切る」という気持ちで一戦一戦、目の前の相手だけに集中して戦うことができました。心が整うことで、去年から取り組んできたことを持っても投げられる、新たな技を使って勝つことができ、去年の世界選手権とは違う形で優勝することができました。結果を気にせず「今やるべき事に全力を尽くす」大切さを、大会を終えてより感じるようになりました。

日頃よりたくさんの方々の支え、応援があったことで頑張り続けることができ、二連覇を達成することができたので、感謝の気持ちでいっぱいです。今後も、まだまだ未完成的な部分を作り上げていき、さらに高みを目指して、日々稽古に励んでいきます。

三井住友海上火災保険株式会社
女子柔道部 新井千鶴